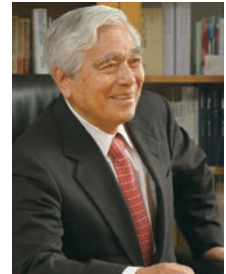


203号 狭山ヶ丘通信

本校の実情をお知らせし、教育問題、社会問題等に関する本校校長小川義男の見解などをお読みいただくため「狭山ヶ丘通信」を発行いたしております。また、本校ウェブサイトにてバックナンバーもご覧いただけます。 <https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/> 〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢981 TEL:04-2962-3844 FAX:04-2962-0656 狭山ヶ丘学園 広報部



狭山ヶ丘高等学校
狭山ヶ丘高等専修学校
校長 小川義男

国際情勢の 激変期を前にして

「大東亜戦争」は、一九四五年八月十五日に終わった。当時私は、中学一年生であった。

その頃、学校には、軍事教練担当の下士官が配属されていた。体育の授業の相当部分は、軍事訓練であった。五年制の中学校であったが、三年生は軍需工場に動員され、勉強は二年生以下と言うのが実態であった。五年生の中には、特攻隊員として戦死した人もいた。

小学校、当時は「国民学校」と言ったが、六年生の時に「航空機乗員養成所」の試験があった。私も受けたかったが、先生が賛成してくれなかった。後で思うと、これは特別攻撃隊の一員として養成される学校だったようである。

私の住んでいた北海道にも、空襲があったし「座布団に信管を付けて、敵の戦車の下に飛び込む」という訓練が、体育の授業の相当部分であった。

戦争終結は、陛下のいわゆる「玉音放送」で知った。悔しさの反面「明日からは空襲警報はないのだな」と思うと、ほっとした。

沖繩ではすでに「実戦」が展開されていたし、サイパン島では「米兵の陵辱を受けるくらいなら」と言うので、断崖絶壁から乙女たちが投身した。今それは「万歳岬」と呼ばれて

いる。

後年、私も現地を訪れたが、祖国日本を空襲しようとするアメリカ軍から守るために、軍、島民、乙女たちが戦い続けたことを思うと、耐えがたい苦悩を覚える。

ウクライナは、もともとソビエト社会主義共和国連邦の一員であったが、偉大なフルシチョフ、ゴルバチョフ両氏の努力で、各国それぞれが独立した。それ以前の「ソビエト社会主義共和国連邦」には、スターリンによる言語に絶する恐怖政治が敷かれていた。

例えばドイツは、西と東に分裂して存在していたのだが、ベルリンは、社会主義の東ドイツの中に存在していた。東ドイツの中に、自由主義陣営であり、経済的にも、極めて豊かな西ベルリンが存在していたのである。隣接する貧しい東ベルリンから、高い塀を飛び降りて、西ベルリンへ脱出する人が多数存在していた。それが東の軍、警察に見つかる、即座に射殺された。

フルシチョフ、ゴルバチョフ両氏の努力で、古いソビエトは自由化され、東西を隔てる壁は、ぶち壊された。その直後に私はドイツを訪れ、破壊された塀を、幾度も東西に行き来して、自由化されたドイツの素晴らしさに感動した。

私は、フルシチョフ氏とは実際に会っているから、彼の偉大さは分かる。

偉大なゴルバチョフ氏は、私がモスクワで活動していた頃には、モスクワ大学四年生だったので、面識はない。恐らく彼は、法律の勉強に専念していたのだろう。しかし歴史に残る「偉大な人物」であった。彼若しくはその同志が健在ならば、北方領土問題も、別な形で解決していたらと思う。

故安倍元総理は、いささか限度を超えて

プーチン氏と親しくしていたようだが、私はそれを危ぶんでいた。安倍氏には、プーチン氏との友情に関する幻想があった。彼には、戦争で奪われた領土は「戦争でなければ奪還できない」という、確立された原則に対する誤解、幻想があった。

だから、領土を奪われた場合には「返せ」「返せ」と、千年でも叫び続けねばならないのである。安倍氏には、その見識がなかった。国後や択捉に、核基地が建設される危険がある今日、安倍氏は育ちが良いだけにプーチン氏の本質が見抜けなかったのかも知れない。

一国の指導層に、そのような甘さがあるならば、我々は北海道そのものを失うかも知れないのである。

拉致被害者 奪還問題について

北朝鮮における拉致被害者奪還交渉については、現状に疑問がある。

少し昔、当時の小泉純一郎総理は、極めて短時間の滞在で問題を解決した。彼自身は語っていたことだが、北朝鮮側の接待は一切辞退し、持参した握り飯、茶、その他の弁当類で、食事をとったらしい。総理になる前の、若き安倍氏も同行していた。

私は、経済的にも困難を極めていた北朝鮮から、一定数の拉致被害者を「買い取った」のが真相だと思う。それほど北朝鮮は、経済的に逼迫していたのである。

それでも、横田めぐみさんは戻らなかつた。当時のマスコミの動きから考え、めぐみさんは「幸せであるかどうかは別として、帰ることは出来ない事情下にあった」と見るべきであろう。

それより、私が重視すべきだと思うの

は、横田さんを初め、拉致被害者を生み出した事実に対する、我が国の治安維持責任の問題である。

このような拉致事件は、全国に極めて多数発生していた。にもかかわらず、その発生を許したことに對する刑事上、行政上の責任が問責されたということをあまり聞かない。

比較的大学に近い建造物を所有する人物の邸を活用して、外国の院生、留学生等が「愛国的拠点」「国際的拠点」として、これを活用しているケースは珍しくない。

中には、母国独特の料理を商う店舗が、政治、思想運動の活動拠点として利用されている場合もある。

奈良県においては、元総理が殺害されたにもかかわらず、その落ち度に関する責任が、不問に近い事後処理で済まされた。これで国家百年、千年の治安が、全うできるものであろうか。

広島に世界各国から要人を参集して、核兵器を「使用しない、させない」という決意を新たにした。

人類は、核そのものを廃絶できないまでも、核兵器を「使用させない」ことを眼目として、活動を展開してきた。

しかし、最近、核兵器そのものの廃絶を要求することによって、自由主義陣営の無力化を目指すような気配も現れ始めている。

もっともなことではあるが、それが、自由主義陣営のみの「核非武装化」「核廃絶」を求める「政治運動」として展開されることを私は憂慮する。

聡明な平和運動の大切さが痛感されるのである。

学校説明会のご案内

狭山ヶ丘高等学校・同付属中学校



「気になる」が「納得」になりました

気になる「コースのこと」、
「部活のこと」、「学校生活のこと」、
「学費のこと」…何でもお答えいたします！
当日参加も可能ですが、本校ウェブサイトで
事前予約をしていただけますとスムーズに
ご参加いただけます。ぜひ、ご来校ください！

入試対策学習法
ガイダンスが
あります！

高等学校

**予約優先
当日参加可**
受験を前に、実際にぜひ本校にご来校
いただき、雰囲気や入学後のことにつ
いて知って下さい！なお説明会のあ
とには、入試対策学習法ガイダンスや個別相談も
行っております。説明会と合わせてご参加ください。

英語は小川校長直伝！



付属中学校

校内見学も
自由
です！

**予約優先
当日参加可**
体験授業や校内見学、個別相
談など、実際に体験してい
ただき本校のことを知ってい
ただけるイベントをご用意しております。

現役生徒による学校紹介！



第3回 10:00 ~ 11:30 **9月23日** (土・祝)

今後の開催日 【第4回】10/29(日) 【第5回】11/19(日)
各回 10:00~11:30

第3回 14:00 ~ 15:30 **10月21日** (土)

今後の開催日 【第4回】11/4(土) 【第5回】12/2(土)
各回 14:00~15:30

高等学校個別相談会 全3回

※個別相談のみです。
※スクールバスの運行はありません。

第1回 14:00 ~ 17:00 **10月14日** (土)

第2回 12月16日 (土) 9:00~12:00
13:00~16:00

第3回 12月26日 (火) 9:00~12:00

主なご相談内容

- 入試について
- 高校生活への不安
- 授業内容について
- 進路について
- 部活動について
- 学費について

本校教員が丁寧に対応します



ご来校には公共交通機関・送迎用スクールバスをご利用ください。駐車スペースがないため、車での来校はご遠慮ください。

	乗車場	来校用	下校用
午前開催 (10時間)	入曽駅東口(西武バス折り返し所)	9:00・9:15・9:30	11:30から順次 [入曽・箱根ヶ崎便・入曽経由川越行便]
午後開催 (14時間)	入曽駅東口(西武バス折り返し所)	9:05・9:30	
	箱根ヶ崎駅西口(送迎バス④乗り場)		
	箱根ヶ崎駅東口(西武バス折り返し所)	13:30	[入曽・箱根ヶ崎便] 15:30から順次 [入曽経由川越行便] 16:00・17:00
	箱根ヶ崎駅西口(送迎バス④乗り場)		



ご予約や資料請求は、本校ウェブサイトで!

<https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/>



- ご予約は、開催日3週間前の9:00から開催日3日前の23:59まで受け付けております。
- 個別相談をご希望の方は、事前に個別相談用紙をプリントアウトし、ご記入いただきご持参ください。
- 校舎内は、上履きは必要ございません。また、昼食の販売はございません。

お問い合わせ 狭山ヶ丘高等学校・同付属中学校 渉外部 TEL 04-2962-3844

学校見学 事前に電話予約をいただければ、ご案内いたします。ご希望についてご連絡ください。

Web版は個人情報保護の観点から一部情報を掲載しておりません。

狭丘祭でも一際盛況なのは、高校3年生が創意工夫を凝らして食品を提供する模擬店です。高3生が夏休み前からメニューの企画や調理実習を行い、独創的なメニューの屋台が並びます。今年度は、4年ぶりに模擬店が復活しました。

3年A組

ホットサンド



3年B組

やしそば



3年C組

たこ焼き



3年D組

じゃがバター



3年E組

ベビーカステラ



3年F組

やきとり



3年G組

ホットドッグ



3年H組

ワッフル



3年I組

たいやき



3年J組

ポテトフライ



3年K組

ポップコーン



進路実現に向けて!

夏期講習で実力アップ

自学自習を掲げる本校は、学習において先立って重要なのは授業を集中しながら受けることだと考えており、サポートの一環として朝ゼミや放課後ゼミを随時開講していますが、夏休み期間も夏期講習として、専用の講座を開いています。今年度も夏休みの始まりと終わりに計15日間開講しました。講座は学年ごとに、1学期時点での学習の理解度に応じて設定されるので、年度によって開講される講座や扱う内容、担当教員が異なるのが特徴です。時間は通常授業よりも長い80分に設定され、演習に時間が必要な内容を重点的に扱うことができます。高校生の場合、生徒は所属類を超えて、自分が受けた内容の講座を選択して受講できるため、普段は授業担当ではない教員や、ともに授業を受けることがないような生徒たちに刺激を受けながら、苦手や悩みを克服していくことができます。

開講された講座の例

- ・国語 応用 基礎(中学2・3、高1)
- ・英語 国立早慶 GMARCH 中堅私大 英作文(高3)
- ・理科 生物-基礎・細胞~代謝
生物-記述対策
物理-波動
化学-無機・有機
化学-理論化学(高3)
- ・国語 最~古典(高2)
- ・数学 challenge(高2)

生徒に合わせ、レベル別・分野別に様々なゼミが開講されました。

講座の名前も担当教員が自由に設定します。



受講した生徒の声

高校 ●年●組 川田 飛鳥

今回の夏期講習は、来年の受験に向けてしっかりと土台を作り上げたいことを目標に国数英の3科目を受講しました。講習には、他の生徒たちも多く参加していて、皆非常に真剣に受講していたため、自分も負けられないという気持ちになりました。また、過去に習った範囲の内容であっても、意外と忘れていたことが多かったため、そのような部分を見つけた時に感じる悔しさもバネに普段よりいっそう勉強に励むことができました。特に、苦手としていた数学においては、自分でもかなりの成長を感じています。単に計算速度が上がっただけではなく、以前であれば解けなかった応用や発展レベルの問題でも、解くために必要な過程等が段々とわかるようになってきて、完答しきることはできなくとも、部分点のある程度手に入れられるようになりました。

大学受験をあと1年と少しで迎えるにあたって、今年の夏期講習は良い意識改革にもなったと思います。どうしても夏休みは気が緩んでしまいがちですが、目標に向けて頑張ろうという気持ちで、講習のない日もコツコツと勉強を続けることが出来ました。こうした積み重ねが無駄にならないよう、これからも頑張っていきたいです。

中学 ●年●組 齊藤 隆太

私は今年度、前期5日間、後期10日間、1コマ80分の1日3コマ、夏期講習を受けました。それにより、新しい学びや成長がたくさんありました。

今回の講習では、普段の教科の授業ではあまり扱わない分野を学ぶことができました。例えば、国語の古文や英語の現在完了形などです。学ぶのは少し大変でしたが、とても良い経験になったと思います。また、中学3年生レベルの難易度の高い問題を解いたことで、思考力を高めることができました。それを積み重ねていくことはとても大切であり、学力推移調査や数年後の大学入試での大きな力になると思います。さらに、普段より30分長く授業を受けたので、以前よりも集中力を持続できるようになりました。集中力を持続させることで、学んだ内容をより多く取り込むことができました。

夏期講習を受けて、とてもいい経験ができたと思います。このことを、日々の学習につなげていき、まずは次の模試で良い結果を出したいと思います。

本校進路指導のサポートや取り組みは、学校ウェブサイトやパンフレットでも紹介しております。

狭山ヶ丘の学び

進路について

学校紹介パンフレット



中学



高校



中学



高校





ご来場ありがとうございました

9月9日(土)、10日(日)に、第63回狭丘祭を開催しました。今年度は高校3年生やPTA・後援会による模擬店を4年ぶりに再開しました。コロナ禍前の狭丘祭を知っている生徒は限られてしまいましたが、生徒会が中心となりつつ準備に力を入れ、大盛況のうちに閉幕となりました。当日はのべ3300名以上の方にご来校いただきました。

残暑厳しい中お越しいただき、狭丘祭を盛り上げていただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

第63回(二〇二三年度) 狭丘祭

友情を 皆で繋ぐ 狭丘祭



狭丘祭を振り返って

生徒会長(第63回狭丘祭運営本部長)
齋藤 さくら

今年の狭丘祭では、模擬店やアーチ作成、生徒会企画「Saika Live」など4年ぶりに行われることや初めての試みの企画も盛大に盛り上がりました。全員に残る素敵な狭丘祭になったと思います。ご協力いただいた先生方、生徒のみならず、ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。

この狭丘祭で、一緒に準備を進めてくれた生徒会役員と自分の成長も強く感じる事ができました。この経験を大切にしながら、今後もより良い生徒会活動を運営し、充実した学校生活となるよう努めていきます。



優秀発表班・クラス

付属中学校

●年●組●班 「Haagen-Dazsの歴史」
杉本 三四郎

限られた時間でまとめるのはとても大変で発表も緊張しましたが、堂々とやり切った成果が結果に結びつき嬉しかったです。

●年●組●班 「サブハラ地域の貧困と教育の関係性」
一瀬 陽太郎

私達は放課後も残って議論をしながら準備を進めました。検討した対策から生じる新たな問題の掘り下げに苦労しました。

●年●組白雪姫班 「英語劇「白雪姫」」
大島 彩音

場面の転換をスムーズに行えるような工夫をしました。また、劇を通じてクラスの団結力を改めて感じることができました。

高等学校

●年●組 「ハイカラ横丁」(教室展示総合優秀賞)
近江谷 雄太

私達のクラスは、お客さんが何回も訪れたいくなるよう頑張りました。クラスの人々と賞を取って嬉しかったです。

●年●組 「AGクリニック」
澤田 茉奈

苦勞して創り上げたAGクリニックだったので優秀賞がD組と聞いた瞬間のみんなの笑顔が忘れられません。

●年●組 「にどさんど」(模擬店総合優秀賞)
小林 勢奈

季節外れの蝉が鳴き続ける。にどさんど。凝ったコンセプトに試行錯誤を続ける。確定した利益と集めた票。蝉は鳴き止んだ。